



『じゅえきレストラン』

新開孝／写真・文 ポプラ社 2012

きのうの レストランを のぞいてみよう。メニューは べたべたの じゅえき。いろんな おきゃくさんが きているよ。なかには、じゅえきを たべない おきゃくさんも いるよ。なにをしに きたのかな？



『セミたちの夏』

筒井学／写真・文 小学館 2012

夏になると、セミたちの なきごえが きこえてきます。セミは つちの なかで、6ねんものあいだ ゆっくりと せいちょうし、ある夏の ひ そとへ でてきます。とうかほど けんめい に なくて、いのちをつなぎます。セミについて しらないことが いっぱいわかります。



『さがりばな』

横塚真己人／作 講談社 2011

みなみの しまで みられる「さがりばな」は、ゆうがたに はなが さきはじめ、つぎの ひの あさには おちて しまいます。はなが さくと、「なつのはなみ」と よばれるほど きれいです。はなが おわると あとには みが できて、いのちを つないで いきます。



『つやっつやなす』

いわさゆうこ／さく 童心社 2012

あつい なつ。はっぱの あいだから、ぼっこん、ぼっこん。いろんな かたちや いろの なすが つぎつぎに とうじょうします。その しゅるいの おおさにびっくり。いまにも たべたくなるような、なすの せかいに さそってくれる えほんです。



『みどりのカーテンをつくろう』

菊本るり子／作 のぐちようこ／絵 あかね書房 2012

あつい ひざしを さえぎる、みどりのカーテンを していますか。この本には みどりのカーテンになる ゴーヤの そだてかたが わかりやすく かいてあります。そだてるのに だいじなことは、しょくぶつの きもちになって かんがえることです。



『くつがいく』

和歌山静子／作 童心社 2013

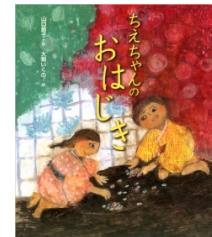
「ざっざざざざ」へいたいさんの あしおとです。むかった さきは せんそう。みんな ぼろぼろになりました。せんそうとは なんだったのでしょうか。しょうじょの さいごの ことばには、へいわを まもる みらいへの つよい きもちが こめられています。



『8月6日のこと』

中川ひろたか／文 長谷川義史／絵 ハモニカブックス 2011

せとないかいは そのひも おだやかな うみでした。おかあさんは しまから とおくの そらが ぴかっと ひかったのを みました。さわがしかった せみが いっしゅん なくのを やめたような きがしました—8月6日に ほんとうに あった おはなしです。



『ちえちゃんのおはじき』

山口節子／作 大畑いくの／絵 佼成出版社 2012

なかよしだった ちえちゃんと ともちゃん。ふたりは せんそうが はげしくなっ おわかれすることに。また あえるようにと、おおいちょうの きの したに おはじきを うめました。おばあちゃんになった ともちゃんが、まごの そらちゃんと おはじきを さがしに いった みた ものとは…？



『さがしています』

アーサー・ビナード／作 岡倉禎志／写真 童心社 2012

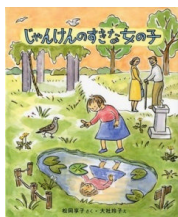
8月6日の あさ、8時15分に ひろしまけんに げんしばくだんが おとされました。とまったまもの とけい、ちいさい ぐんて、おべんとうばこ。ピカドンを たいけんした、わたしたちの みぢかにある ものたちが、もちぬしを さがしています。



『八月の光』

朽木祥／作 偕成社 2012

八月のあの日に起こった出来事、三つの物語。「だが、物語のなかの 少年少女たちは過去の亡霊（ぼうれい）ではない。未来のあなたでもあり、私でもある ～あとがきより」決して忘れずに語りついでいかなければいけない本だと思います。



『じゃんけんのすきな女の子』

松岡享子／さく 学研教育出版 2013

じゃんけんの すきな 女の子は 何を きめるにもじゃんけん。じぶん ひとりでも じゃんけん。ある日、女の子が おるすばんを していると、とても だいじな ことを きめるのに、じゃんけんを することに。さて、だれと じゃんけんを するのかな？



『お父ちゃんの音や!』

大野圭子／作 文研出版 2012

淳のクラスに転校してきた耕太は、この町にはない玉子焼きを食べるために、淳と二人で明石に行こうと計画します。なんでもはっきりと言える耕太が言えなかったことは、自分の意見をうまく伝えられない淳との交流を通して2人は変わっていきます。



『逢魔が時のものがたり』

巢山ひろみ／作 学研教育出版 2012

日が落ちて明るさの残るときを「逢魔が時」といい、魔にであう時間といわれます。この「逢魔が時」に、子どもたちは、ふしぎなところにひきこまれていきます。はたして、もどくにはできるのでしょうか。



『願いがかなうふしぎな日記』

本田有明／作 PHP 研究所 2012

勉強がきらいで、運動も苦手な光平が、なくなったおばあちゃんからもらった「えにつき」。書いた願いがかなえられていく。これってまほうの日記なの？光平はこの夏、心にひっかかっていた10の願いをかなえていきます。



『ココと幽霊』

イワン・クーシャン／作 富山房インターナショナル 2013

引っ越してきたばかりのココの家「でていかないとよくないことがおきる」となぞの手紙がとどきます。あるときココは幽霊を見ます。おかしい事件もおこり、仲間といっしょに、しんそうを見つけようと思いますが、果たして幽霊のしょうたいは？

もう 1 さつ

「あまり本をよまないな—」
そんな人は、感想文の本のほかに
もう1さつ本をよんでみるいいきかい。

「本だ—いすき!」
そんな人は、1さつでも多く本を
よむ、いいきかい。

このブックリストでは、
科学(かがく)・平和(へいわ)・
さいきん出たおすすめの本を
しょうかいしています。

みなさん、夏休みにあと“もう1さつ”
本をよんでみませんか？
すてきな本にであえたこと、きっと、
夏休みのいい思い出になりますよ!



このブックリストは出版社の許可を得て表紙を掲載しています

2013年7月 発行

宮崎県立図書館 こどもしつ TEL (0985) 29-2596